○中国地方整備局告示第二十四号

次のように道路の区域を変更したので、道路法（昭和二十七年法律第百八十号）第十八条第一項の規定に基づき、告示する。

その関係図面は、平成二十七年三月九日から二週間一般の縦覧に供する。

中国地方整備局長　尾藤　勇

(一)　道路の種類　一般国道

(二)　路線名　五十三号

(三)　道路の区域

区間	変更前後別	敷地の幅員延長
鳥取県八頭郡智頭町大字奥本字本谷六九三番三一地内	前	一七・六〇～五〇・〇〇メートル
	後	一七・六〇～七二・四〇メートル　〇・一一四キロメートル

(四)　図面縦覧場所　中国地方整備局及び同局鳥取河川国道事務所

○中国地方整備局告示第二十五号

次のように道路の供用を開始するので、道路法（昭和二十七年法律第百八十号）第十八条第二項の規定に基づき、告示する。

その関係図面は、平成二十七年三月九日から二週間一般の縦覧に供する。

中国地方整備局長　尾藤　勇

路線名	供用開始の区間	図面縦覧場所
五十三号	鳥取県八頭郡智頭町大字奥本字本谷六九三番三一地内	中国地方整備局及び同局鳥取河川国道事務所

供用開始の期日　平成二十七年三月九日

○北海道開発局告示第二十六号

次のように道路の区域を変更したので、道路法（昭和二十七年法律第百八十号）第十八条第一項の規定に基づき、告示する。

その関係図面は、平成二十七年三月九日から二週間一般の縦覧に供する。

北海道開発局長　岡部　和憲

(一)　道路の種類　一般国道

(二)　路線名　二百二十九号及び二百七十六号

(三)　道路の区域

区間	変更前後別	敷地の幅員延長
北海道岩内郡岩内町字敷島内二番五から同町字敷島内一〇番一二まで	前	一五・三〇～一七・五〇メートル
	後	一五・三〇～一七・五〇　〇・一八六キロメートル

(四)　図面縦覧場所　北海道開発局及び同局小樽開発建設部

○北海道開発局告示第二十七号

次のように道路の供用を開始するので、道路法（昭和二十七年法律第百八十号）第十八条第二項の規定に基づき、告示する。

その関係図面は、平成二十七年三月九日から二週間一般の縦覧に供する。

北海道開発局長　岡部　和憲

路線名	供用開始の区間	図面縦覧場所
平成二十七年三月九日	北海道開発局長　岡部　和憲	
二百七十四号	夕張市紅葉山一四番一から同市紅葉山二二番一まで（ただし、関係図面に表示する部分のみ。）	北海道開発局及び同局札幌開発建設部

供用開始の期日　平成二十七年三月九日

国会事項

衆議院

議案提出

三月五日議員から提出した議案は次のとおりである。

公職選挙法等の一部を改正する法律案（船田元外七名提出）

質問書提出

三月五日議員から提出した質問主意書は次のとおりである。

原発再稼働による交付金増に関する質問主意書（井坂信彦提出）

クールジャパン政策におけるコンテンツ産業に関する質問主意書（井坂信彦提出）

産経新聞ソウル支局長に対する韓国政府の対応に関する質問主意書（鈴木貴子提出）

産経新聞前ソウル支局長に関する質問主意書（鈴木貴子提出）

参議院

質問主意書提出

三月五日議員から次の質問主意書が提出された。

旅館業法の規制に関する質問主意書（中西健治提出）（第六七号）

人事異動

財務省

（国税庁次長）財務事務官　佐川　宣寿

国税庁長官林信光外国出張不在中国税庁長官事務代理を命ずる（三月四日）

叙位・叙勲

○叙位

従三位に叙する

市川多恵子

正四位に叙する

末舛　惠一

石田　弘　（日南市議会議員）

伊藤　忠雄

岩橋　美好　奥澤　良雄

井上　進

小野　隆雄　佐藤　勇逸　奥谷　雅雄

鈴木　常夫

淵　孝年　横山　隆介

従五位に叙する（各通）

岡本　秋治　小林　勝　田島　均

平手　義輝　穂波　正淑

正八位

宮崎彌三郎

正六位に叙する（各通）

（法務事務官）小島　一男

小泉　祐二

（千葉県警部補）鈴木　巽　高橋　武　郷野　松吉

寺脇　靖一　中里　観正　島津　孝之

原　誠貫　船木　健　鶴薗　辰男

村松　武範　安武　修　花登　幹夫

山本　邦彦　柳瀬　和夫　村松　智

従六位に叙する（各通）

阿部　康造　及川　末一　加藤　誠二

高岡　武　戸谷　高　福原　勇

山口　友治

正七位に叙する（各通）

飯村　學　今吉　敏雄

大塚　幸　森口　泰典

従七位に叙する（各通）（以上一月二十九日）

（大阪大学名誉教授）三浦　岩

正四位に叙する

関　道就

正五位に叙する

正八位

伊藤　公

従五位に叙する（各通）

池田　吉夫　加茂　正三　近江　徳治

山崎　善照　横田　有司　天花寺正巳

正六位に叙する（各通）

青木　保　今井　徳次　大川　美行

奥村　惣次　上島　良勝　川本　淺夫

北川　長生　斉藤　金太　齋藤　智亮

坂本和三郎　鈴木　脩二　巽　伊次郎

中村　勉　袴田佐志雄　皆月　雅省

宮内　成幸　宮本　安信

従六位に叙する（各通）